

平成28年5月24日
国際統括室(グローバル戦略)

コートジボワール、ナイジェリアにおいて「質の高いインフラ」への理解を促進し、企業進出を支援

～日・コートジボワール官民インフラ会議、日・ナイジェリア官民インフラ会議等の結果概要～

今年初めてアフリカで開催される予定のTICADVIの開催も睨み、我が国が提唱する「質の高いインフラ投資」の理解を促進するとともに、我が国インフラ関連企業の現地進出を支援することを目的として、コートジボワール共和国(5月3日(火))及びナイジェリア連邦共和国(5月5日(木))において、JETRO及び相手国政府等との共催で官民インフラ会議を開催しました。日・コートジボワール官民インフラ会議においては、ダンカン首相が冒頭に挨拶し、会議の開催を歓迎しました。

会議に併せて、海堀建設流通政策審議官は、コートジボワール共和国ではダンカン首相、アシ経済インフラ大臣、トゥーレ運輸大臣と意見交換するとともに、ナイジェリア連邦共和国では、同行日本企業とともに、アバカル産業・貿易・投資國務大臣、ロコ外務次官、ザカリ交通次官を表敬し、インフラ分野における現地進出への支援、相談窓口の特定等を要請しました。

1. 日・コートジボワール官民インフラ会議

- (1) 日時：平成28年5月3日(火)
- (2) 場所：コートジボワール共和国 アビジャン市内 ソフィテルアビジャンホテルイヴォワール
- (3) 主催：(日本側)国土交通省、JETRO (コートジボワール側)経済インフラ省
- (4) 参加者：約220人
(日本側の主な出席者) 国土交通省(海堀建設流通政策審議官)、JETRO(平野理事)、在コートジボワール日本国大使館(川村大使)、JICA、日本企業(建設、商社、メーカー等 18社 約50名)
(コートジボワール側の主な出席者) ダンカン首相、アシ経済インフラ大臣、トゥーレ運輸大臣、ウロ都市衛生排水大臣、シセ首相付予算担当大臣、コネ首相付経済財政担当大臣、駐日コートジボワール大使館ウェア大使、現地インフラ関連企業等
- (5) 概要：会議冒頭、海堀建設流通政策審議官、JETRO 平野理事、川村大使、ダンカン首相が挨拶を行いました。日本企業10社より「質の高いインフラ」の事例やインフラ関連技術等について紹介した後、テーマ別ワークショップにおいて、先進的な港湾建設技術、環境に配慮した建設技術、道路維持修繕等についてコートジボワール側の参加者と意見交換を行いました。また、日本企業とコートジボワール企業のビジネスマッチングを行い、両国企業の連携の推進を図りました。会議全体を通じて、活発な意見交換がなされ、日本が提唱する「質の高いインフラ投資」やライフサイクルコスト等の考え方について認識を共有しました。
また、海堀建設流通政策審議官は、ダンカン首相と会談し、両国の官民をあげた協力関係の強化、及びビジネス関係の更なる発展への期待を伝えました。ダンカン首相からは、日本の支援に対する感謝と3つの国家目標(1, 平和と安定。2, 国民和解と社会紐帯。3, 経済成長の加速)についての説明があり、協力への期待が表明されました。更に、海堀建設流通政策審議官は日本企業とともに、トゥーレ運輸大臣、アシ経済インフラ大臣と意見交換を行いました。



<会議の様子>



<ダンカン首相冒頭挨拶>



<ワークショップの様子>



<ビジネスマッチングの様子>



<ダンカン首相との意見交換>



<日本企業とのアシ大臣、トゥーレ大臣意見交換>

2. 日・ナイジェリア官民インフラ会議

(1)日 時 : 平成28年5月5日(木)

(2)場 所 : ナイジェリア連邦共和国 ラゴス市内 インターコンチネンタルホテルラゴス

(3)主 催 : (日本側)国土交通省、JETRO (ナイジェリア側)ラゴス州政府、ラゴス商工会議所

(4)参加者:約260人

(日本側の主な出席者)国土交通省(海堀建設流通政策審議官)、JETRO(平野理事)、在ナイジェリア日本国大使館(大塚次席)、JICA、日本企業(建設、商社、メーカー等 13社 約50名)

(ナイジェリア側の主な出席者)アカンデ ラゴス商工会議所会頭(元連邦貿易産業相)、駐日ナイジェリア大使館フセイニ臨時大使、現地インフラ関連企業等

(5)概 要 :会議冒頭、海堀建設流通政策審議官、JETRO 平野理事、大塚次席、アカンデ ラゴス商工会議所会頭、フセイニ臨時大使が挨拶を行い、会議の開催を歓迎しました。日本企業6社より「質の高いインフラ」の事例やインフラ関連技術等について紹介するとともに、日本企業とナイジェリア企業のビジネスマッチングを行い、両国企業の連携の推進を図りました。会議全体を通じて、活発な意見交換がなされ、日本が提唱する「質の高いインフラ投資」やライフサイクルコスト等の考え方について認識を共有しました。

また、海堀建設流通政策審議官は、アブジャに日本企業を同行し、3省庁(交通省、外務省、産業貿易投資省)を訪問して、両国の官民をあげた協力関係の強化、及びビジネス関係の更なる発展への期待を伝えました。併せて、日本企業からは自社の紹介と技術の発表を行いました。交通省ではザカリ交通次官に対して、海堀建設流通政策審議官より、ラゴスでの官民インフラ会議の開催を報告するとともに、日本企業の相談窓口の特定を依頼しました。それに対して、ザカリ交通次官は、日本企業の交通分野への投資に期待を表明するとともに、日本企業の相談窓口を特定した上で、今後の協力を表明しました。産業貿易投資省ではアブバカル産業貿易投資国務大臣より、外務省ではロロ外務次官より、日本からの投資と両国の関係強化について期待が表明されました。



<海堀審議官冒頭挨拶>



<会議の様子>



<ビジネスマッチングの様子>



<ザカリ交通次官表敬>



<ロロ外務次官表敬>



<アブバカル国務大臣表敬>

<お問い合わせ先>

国土交通省総合政策局国際政策課(グローバル戦略) 大澤、星川

電話 03-5253-8111(内線 25205、25216)、直通 03-5253-8316、FAX 03-5253-1562